遅かった春も満開

大雪と異状気象のため全国的に遅れた桜の開花ですが、４月末にはほぼ満開。新潟競馬場の桜を見に訪れる人も大勢いました。（５月１日）

戦いを通して親ぼく

長浦、岡方親善将棋大会

四月二十二日、大阿賀荘で、長浦・岡方地区対抗の親善将棋大会が開かれました。

この大会は、「将棋を通して地区間の交流を深めよう」と昨年から行われているものです。この日参加した地区の代表四十人は、朝九時から午後三時過ぎまで、和やかなうちにも熱戦を展開しました。

団体戦、個人戦の結果は次のとおりです。

〈Ａブロック〉

▼団体戦

長浦一八勝―岡方一八勝

▼個人戦

一位　小野勇三（十二）、二位　高橋忠（長戸呂）、三位　本田作平（長場）

〈Ｂブロック〉

▼団体戦

長浦二七勝―岡方二二勝

▼個人戦

一位　曽我初太郎（長場）、二位　神田正太郎（浦木）、三位　阿部元三郎（灰塚）

〈Ｃブロック〉

▼団体戦

長浦三三勝―岡方一六勝

▼個人戦

一位　山下善幸（内沼）、二位　本田与三郎（長場）、三位　庭山富三郎（灰塚）

中央公民館と豊栄俳句会主催の第三十五回豊栄市県下俳句大会が次のとおり開催されます。市民の皆さんの応募をお待ちしています。

あなたの一句を…

●とき　七月二十二日午前九時から

●ところ　中央公民館

●兼題　夕立、跳足（はだし）、草いきれ

●締切り　六月十五日

希望者は投句料五句一組千五百円を添えて、大瀬柳の鈴木宝竹さん（電話七―四三八五）まで申し込んで下さい。

市民文芸

俳句

豊栄俳句会

一筋の風に囀（さえず）り発ち去りぬ　小林　翠山

陽炎へ妻が押し出す一輪車　高橋　松月

絢爛と暦は桜失職す　中川　和世

廃屋の歴史遠のく山桜　本田　郁

病室の花あらたまり藤の花　細野　良藏

巣立した子の靴洗う日曜日　米田　とみ

仲人の謝礼を値切る幼な妻

川柳

「自由吟」　豊柳会

大島残葉選

家計簿へ夫婦の汗がこぼれ落ち　佐藤啓四郎

ありがとうございました

●博物館へ寄贈

・新発田農業高校木崎分校――アイロン四点、こて五点

●日本中央競馬会新潟競馬場（場長佐藤幸男）が、グランドピアノを木崎小学校へ寄贈。

●横山産業株式会社（代表取締役横山正一）が、バキュームクリーナー一点、エアーポット三点を早通中学校へ寄贈。

●小林サクさん（法花鳥屋）が亡夫正二郎さんの香典返しとして十万円を市に寄付。

●市商工会早通支部（支部長代理中川欣一）が、一輪車三台を早通児童センターに寄贈。

おじゃましま～す

親子で奉仕の尊さを学ぶ

長谷川文平さん（木崎、三四歳）

木崎子供育成会では、親子で木崎小学校前のバス停の清掃を行っています。

四月に育成会の会長になられた長谷川さんにお聞きしました。

いつから始めたんですか。

「もう五年になるでしょうか。第二と第四日曜日の月二回、子供二人、保護者一人の班でやっています。子供は五、六年生、大人は六年生の父兄です。バス停の清掃は、育成会の事業計画の一つで、今年は五月から十二月まで予定しています」

どうしてバス停の清掃を。

「清掃を通して、子供たちに奉仕の尊さを学んでほしいということなんです。それも、子供たちに主体性と責任感を持ってもらえるようなやり方で…。木崎の自治会でも、旧国道七号線をはさんで、交流が足りなかったということで今年から、班編成も一緒にするようにしました」

周りの反応などは。

「もちろん、地元の人たちも理解を示してくれています。ほうきとちり取りを持って、バス停の中と外を掃除しているんですが、声を掛けたりしてもらう時もあります。これからも続けていこうと皆んなで話し合っています」

育成会では外にどんな事業を。

「花火大会やきもだめし大会、それと、六月に今年初めて子供会主催の野球大会も計画しました。〝あいさつ運動〟は年間を通した目標で、例えば、危険な所で子供が遊んでいたら、どこの子供でも一声掛けてあげるというような意味もあるんですよ」

東蒲原郡上川村生まれの長谷川さんは新潟市にお勤め、忙しい合い間をぬっての渓流づりが趣味だそうです。

高見　緑星

密室の仁術生命を組み合わせ　中川　草舎

退屈の日を耳搔（かき）が知ってゐる　師橋　山雨

短歌

豊栄短歌会

五十嵐清選

孫負ひば肌のぬくもりつたはりて寝息かすかに耳もとに聞く　関川　マサ

亡き数に入りたる友の多くして名簿くりつつ面影しのぶ　田中　早苗

雪解けに水嵩ませる阿賀野川流る水面（みのも）澄みてつめたし　山崎きよみ

紅く燃ゆブーゲンビリヤの咲く丘よわが南国の旅にしおもふ　五十嵐　絹

幾年か温めて来し短歌（うた）心打ちあくる今胸は高鳴る　落合　幸